

様式1) プラットフォームの連携体制・中長期計画の概要図（1ページ以内）※全てのプラットフォームが記入

○現状・課題、ビジョン・目標（数値目標含む）、連携体制図（協議体制含む）、取組の抜粋等により、プラットフォームの全体像がわかるように作成してください。

【現状】

- ・県内高校卒業者数 今後6年間で3,663人減少 毎年平均611人減少
- ・2005年生まれ 高校生37,000/1学年 20～23歳27,000人 24～25歳32,000人
→大学に入る年齢で10,000人県外へ、大学卒業後5,000人戻らず
- ・大学進学先（2017年）県内4,902人（進学者数の28%） 東京3,527人 神奈川2,187人 愛知2,078人
- ・県外から静岡へ — 静岡から県外への流出（2016年） 学生数 マイナス8,890人
- ・県内大学から県内企業等への就職率（2016年） 国立52.3% 県立64.5% 私立54.9%
- ・出身地に戻りたいか 全国28% 静岡28%
- ・有効求人倍率（2018年6月） 静岡1.72 全国1.62
- ・新規求人倍率 静岡2.59 全国2.47

【課題】

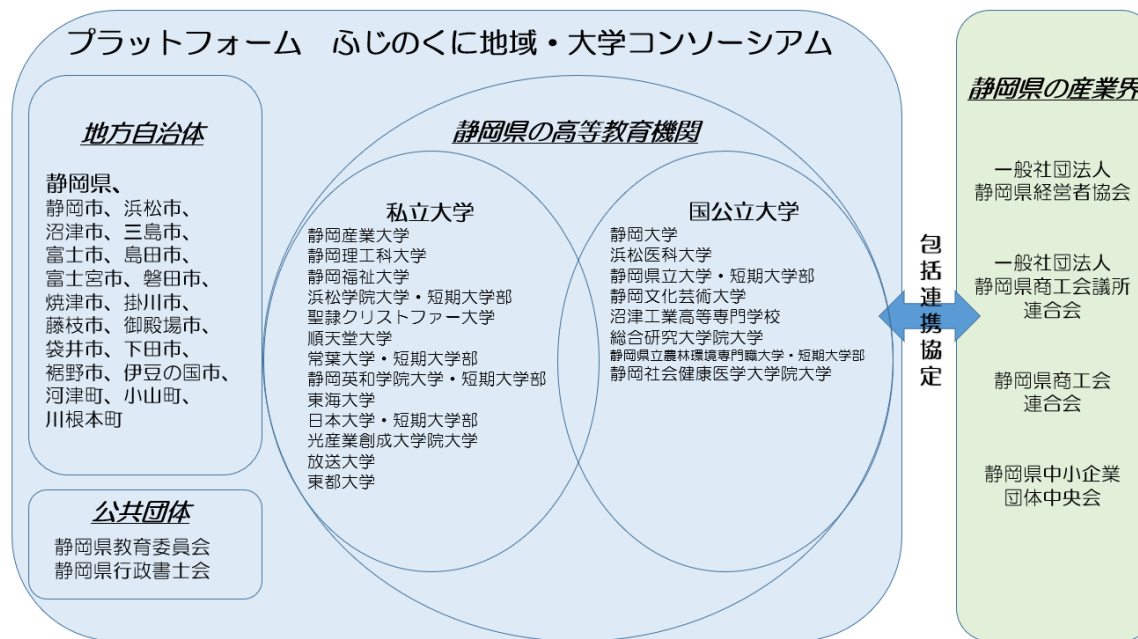
- ・人口減少、若者層の人口流出
- ・超高齢化社会に対応した仕組みづくり
- ・力強い経済・産業の実現
- ・地震、津波などへの災害への対応
- ・時代の変化に対応した地域づくり

【ビジョン】

- ・「静岡県（ふじのくに）ならではの」教育の推進
- ・地域で活躍する人の育成と地域活性化への貢献
- ・国内外問わず、幅広く活躍できる人材の育成と環境づくり
- ・県内高等教育機関の基盤強化

【数値目標】

- ・県内大学生のUターン就職率 43%
- ・県内高等教育機関から海外への留学生数 1,000人
- ・外国人留学生 5,000人
- ・県内高等教育機関が行った委託研究・共同研究件数 1,000件
- ・海外大学との大学観協定累積数 300件
- ・県内高等教育機関の公開講座・シンポジウム開催件数 500回
- ・県内大学オープンキャンパス来場者数 1割増
- ・経済4団体と県内高等教育機関の学生との意見交換会 年2回
- ・社会人を対象とするキャリア形成を目的とした共同プログラム策定 1p策定
- ・高等教育機関共同での学生募集活動 年3回 など



様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入

全体評価	S : 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
A	A : 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
	B : 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
	C : 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
	D : 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

評価理由

12 の活動について総合的に判断し、全体評価「A」とした。活動内容の詳細については以下のとおり。

①大学連携講座事業…未実施

②共同研究助成事業…県内の大学の研究者又は研究グループが行う研究 (2 研究) に対して助成を行った。

③ゼミ学生等地域貢献推進事業…課題解決のための研究を行う県内大学のゼミ及び県内学生により組織された団体 (32 団体) を対象に助成を行った。

④短期集中単位互換授業…本件の地域資源等に関するテーマにより短期集中共同授業 (8 授業) を実施した。

⑤地域研究成果発信事業…ゼミ学生等地域貢献推進事業の成果報告 (32 件)、共同研究助成事業の中間発表 (6 件)、高校生の発表 (5 件) を行った。

⑥高大連携推進事業…大学等の教員による高校への出張講義 (35 講座) を実施した。また、小中高向け大学生出張講座 (5 件) を行った。

⑦合同 SD 研修会事業…「高等教育機関における発達障害のある学生の受入れ、修学・生活支援及び就職支援」「自分起点で始める！大学等の事務効率化と DX」をテーマに SD 研修会を行った。

⑧インターンシップ推進事業…県内におけるインターンシッププログラムの普及拡大、質的向上を目指し、地域人材の育成及び地域産業の振興に寄与するための活動として、インターンシップについての国の定義が変更されたことに伴い、会員各校の対応状況についてヒアリング調査を行った。

⑨西部地域連携事業…県西部の大学と地域が相互に連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図ることを目的とし、共同授業・FD 研修会を行った。

⑩留学生支援事業…留学生に対し、静岡 PR・受入推進事業、生活支援事業、育成事業、就職支援事業及び方向・情報発信事業を行った。

⑪グローバル人材育成事業…未来の静岡県を担うグローバル人材の育成を目指し、本県高等教育機関に在籍する日本人学生で、海外留学を希望する優秀な者に奨学金を給付し、海外留学支援を行った。

⑫プラットフォーム形成推進事業…上記以外の新規事業 (大学事務の共同実施、経済 4 団体と学生及びコンソーシアムとの連携、リカレント教育プログラム策定、災害時に備えた BCP の策定、ICT を活用した単位互換・e ラーニングシステム策定) についての検討を行った。

評価に関する備考 (考慮すべき事項)

① 大学連携講座事業については、⑥高大連携推進事業が、小中学生にも対象を広げ事業を拡大したことから、事業未実施となった。

式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
人口減少、若年層の人口流出	県内出身大学生のUターン就職率 43%	（取組1）大学連携講座事業 県内大学の学術・研究成果を積極的に地域に還元するため、本県の魅力発信、地域振興に繋がる研究内容をテーマとした県民向けの講座を複数大学により共同開催する。	（取組1の活動指標） 7講座開講 600名動員	（取組1の活動実績） 未実施	D
超高齢化社会に対応した仕組みづくり	県内高等教育機関から海外への留学生数 1,000人	（取組2）共同研究助成事業 本県の大学間及び大学と地域との連携を推進し、大学の学術研究の向上や地域貢献の推進を図るため、県内の大学の研究者又は研究グループが行う研究に助成する。	（取組2の活動指標） 5件助成	（取組2の活動実績） 2件助成 （応募総数 12件）	B
力強い経済・産業の実現	外国人留学生 5,000人	（取組3）ゼミ学生等地域貢献推進事業 自治体等が抱える地域課題解決のための実践的な研究を行う県内大学のゼミ及び県内学生により組織された団体に対して、助成を行う。	（取組3の活動指標） 25件助成	（取組3の活動実績） 32件助成	A
地震、津波などへの災害への対応	県内高等教育機関が行った受託研究・共同研究件数 1,000件	（取組4）短期集中単位互換授業 学生が他大学の科目を履修し、在籍大学の単位として認定する。地域にねざした人材を育成するため、本県の地域資源などをテーマにフィールドワークを含む授業を実施し、大学の正規科目として提供する。	（取組4の活動指標） 200名動員	（取組4の活動実績） 288名動員 （8講座開講）	S
時代の変化に対応した地域づくり	海外大学との大学間協定累積数 300件 県内高等教育機関の公開講座・シンポジウム開催件数 500回 県内大学オープンキャンパス来場者数 前年比 1割増				

	経済4団体と県内高等教育機関学生との意見交換会 年2回実施	(取組5) 地域研究成果発信事業 地域と大学、大学間の連携を強化し、資源を還元し合い、交流することで効果を高め、新たな価値を創出するため、取組2.3の助成事業等について、報告会や交流会を行う。	(取組5の活動指標) 400名動員	(取組5の活動実績) Zoom開催のため動員人数不明 ゼミ学生等地域貢献推進事業の成果報告(32件)、共同研究助成事業の中間報告(6件)、高校生の発表(5件) 報告会終了後、HPにてアーカイブ動画として公開	A
	経済4団体とプラットフォームふじのくに地域・大学コンソーシアムとの情報交換会 年1回実施	(取組6) 高大連携推進事業 高校生等に大学の学問や大学生活を知る機会を提供し、進学意欲や目的意識の向上を図るため、大学と高校が連携し、大学等の教員による高校への出張講義や大学生によるワークショップを行う。	(取組6の活動指標) ○出張講義 17講座開講 1,500名動員 ○ワークショップ 5回開催 100名動員	(取組6の活動実績) ○出張講義 35講座開講 2,703名動員 ○ワークショップ 18回開催 1,145名動員	S
	社会人を対象とするキャリア形成を目的とした共同プログラム の策定 1プログラム策定	(取組7) 合同SD・FD研修会事業 大学教職員の資質向上を目的に、合同でSD研修会を開催する。会員大学から希望者を募って企画検討委員会を開催し、研修のテーマや実施方法等を議論する。	(取組7の活動指標) 研修会2回開催 200名動員	(取組7の活動実績) 研修会2回開催 221名動員	A
	高等教育機関共同での募集活動 (OC告知、県外が主体等)年3回実施				
	災害等に備えた高等教育機関内でのBCPの策定				

	（取組８）インターンシップ推進事業 県内における地域人材の育成及び地域産業の振興に寄与するため、インターンシッププログラムの普及拡大、質的向上を目指し、インターンシップマッチング会、専門人材養成研修会等を行う。	（取組８の活動指標） ○インターンシップマッチング6回開催、500名動員 ○インターンシップ 専門人材養成研修会1回開催、50名動員	（取組８の活動実績） インターンシップについての国の定義が変更されたことに伴い、会員各校の対応状況についてヒアリング調査の実施	B
	（取組９）西部地域連携事業 県西部の大学と地域が連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図るため、西部地域の大学間連携による共同授業及びFD 研修会を実施する。	（取組９の活動指標） 共同授業80名動員	（取組９の活動実績） 共同授業 103 名動員	S
	（取組１０）留学生支援事業 県内企業に就職を希望する留学生等に対し、就職支援に関する事業を実施。また、留学生間や留学生と日本人学生との交流促進を図り、互いの異文化への理解を深めるため、交流バスツアーのイベント等の事業を行う。	（取組１０の活動指標） バスツアー50名動員 交流会2回開催	（取組１０の活動実績） バスツアー17名動員 交流会2回開催	B
	（取組11）グローバル人材育成事業 未来の静岡県を担うグローバル人材を育成するため、県内大学の日本人学生に奨学金を給付し、海外留学を支援する。	（取組11の活動指標） 5名助成	（取組１１の活動実績） 2名助成	B
	（取組12）プラットフォーム形成推進事業 新規事業（遠隔講義システム、リカレントプログラム、BCPの策定、共同学生募集等）の検討会議の実施	（取組12の活動指標） 年間5回の検討会議開催	（取組１２の活動実績） 4回の検討会会議開催	A

プラットフォーム名：プラットフォーム ふじのくに地域・大学コンソーシアム

アウトカム指標	達成状況 (令和4 年5 月1 日現在数値)	評価	改善点等
① 静岡県高等教育機関の在学生 県内出身比率65%以上	60.8%	B	県内高校へ県内大学の早期PR、小中高大連携による魅力ある授業の開設
② 静岡県高等教育機関の卒業生（進学・就職） 県内比率60%以上	57.1%	B	県内大学へ県内企業の早期PR（インターンシップ含む）、マッチング機会の創出（D Xを活用したガイダンス等）